

公民科	科目名	現代社会	担当者	金城 勝則
履修学科	情報技術科・インテリア科・デザイン科・調理科			
履修学年	第3学年	履修単位	2単位	
概要及び目標	現代社会に関する課題を様々な観点から取り上げ、現代に生きる一員としての関心を高める。			
評価基準及び方法	○各学期の中間及び期末考査 ○論述レポート ○『現代社会演習ノート』記述 ○プリント（ファイル）まとめ ○授業態度・意欲			
使用教科書及び教材	教科書『最新 現代社会』（教育出版） 副教材『最新 現代社会 完全準拠 演習ノート』（教育出版）			
その他留意点	刻々と移り変わる社会の変動について、新聞等も活用し、常に身近な問題として捉えさせ、適宜レポートも課し、自らの意見を持たせる。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	現代に生きる ～幸福・正義・公正について考えよう～	「幸福・正義・公正」の視点から、私たち人間と生命や情報、自然との関係のあり方を考える。	
5	青年期と現代社会	大衆化・少子高齢化・男女共生社会・情報化・国際化など、現代社会の特徴と問題点を概観しながら、現代に生きる私たちが直面する新たな課題について考える。	中間考査
6	人権保障の原理と日本国憲法	社会の基盤となる法について、その発展の歴史を学び、主権者として必要な知識や認識を身に付ける。	期末考査
7	民主政治と日本国憲法	日本国憲法の制定過程をたどり、三大原理を学習する。また、地方自治の課題と今後のあり方を学習する。	レポート
9	現代の経済社会と経済活動のあり方	三つの経済主体を学びながら、資本主義経済において重要な役割を果たす企業の特徴をつかみ、その存在意義と、市場経済の役割と限界を学習する。また、財政政策や金融政策について学習し、租税制度について考える。	
10			中間考査

シラバス（現代社会）

11	国際社会の動向と日本の果たすべき	国際経済の基本的な仕組みを学習し、経済のグローバル化とその課題について考える。	期末考査
12		国際紛争や人権、民族問題の現実とその解決について考える。 地球環境や人権、人口、食料、貧困の問題について、国際連合や関連する国際会議の取り組みを学習し、解決に向けた方策を考える。	レポート
1	共生社会をめざして ～持続可能な社会の形成に参加しよう～	営利ばかりを求めるのではなく、社会問題を解決するために事業を起こす「社会起業」や、人間として働きやすい社会について考え、私たち個人と社会のあり方を考える。	レポート
2		先進国と発展途上国の経済格差の構造と、解決に向けた取り組みを考える。	学年末考査
3		地球環境問題を取り上げ、現在世代の経済活動が将来世代へおよぼす負の影響をめぐる対立、それを解決するための「世代間均衡」という考え方、世代間の対話の必要性を考える。	レポート